

平成17年12月19日

各 位

東京都港区赤坂一丁目11番44号
株式会社リサ・パートナーズ
代表取締役社長 井無田敦
(コード番号: 8924 東証1部)
問合わせ先 取締役社長室長 岡本浩和
電話番号 03(5573)8011(代表)

高級老舗旅館「矢田屋」(加賀温泉郷 片山津温泉)の再生支援のお知らせ

当社は、株式会社北國銀行(頭取 深山彬・石川)及び日本政策投資銀行と連携し、片山津温泉で随一の高級老舗旅館である「矢田屋」(石川県加賀市片山津温泉)の再生支援を手掛けることとなりましたので、下記のとおりお知らせ致します。

「矢田屋」は、明治29年創業の片山津温泉を代表する高級老舗旅館で、「松濤園」「梅光閣」の2つの旅館を運営しております。これまで皇族をはじめ多くの賓客を迎え、まさに片山津温泉を支える重要な存在と位置づけられております。しかしながら、バブル崩壊後の観光客減少や、団体客から個人客へのシフトというマーケット変化への対応が不十分であったことから、近時、過剰債務を抱えて経営困難な状況になっておりました。

今般、再生にあたって、北國銀行および日本政策投資銀行と共同で地域企業再生ファンド「はくさんファンド」を組成して、石川県中小企業再生支援協議会とも緊密に連携しつつ、同社グループの再構築に着手致します。同社は、今後「松濤園」事業に経営資源を集中させ、大規模改裝も含む抜本的な経営改善策を実行することにより、「加賀・片山津の馴染み宿」をコンセプトに個人客主体の高級旅館として再生を目指します。

また、再生支援の一環として、同社の関連会社が所有するリゾートホテル「ホテル・アローレ」(石川県加賀市柴山町)を当社が取得(信託受益権)致します。

記

1. 再生支援の目的

今回、支援対象となる「矢田屋」は、業暦 100 年を超す高級老舗旅館であり、松濤園、梅光閣の 2 つの旅館を所有・運営しております。これまで皇族をはじめ多くの賓客を迎えて、まさに「加賀温泉郷 片山津温泉」を支える存在と言えます。しかし近時、バブル経済の崩壊や団体客から個人客へのシフト等のマーケット変化への不十分な対応等の影響により、過剰債務を抱え、旅館経営の継続が困難な状況となっていました。また、グループ会社が運営するホテル・アローレは、平成 9 年開業以来、ヨーロピアンスタイルの本格的スパ・リゾートホテルとして運営して参りましたが、グループが抱える過剰債務等の問題もあり、その魅力を最大限に発揮しきれない状況が続いておりました。

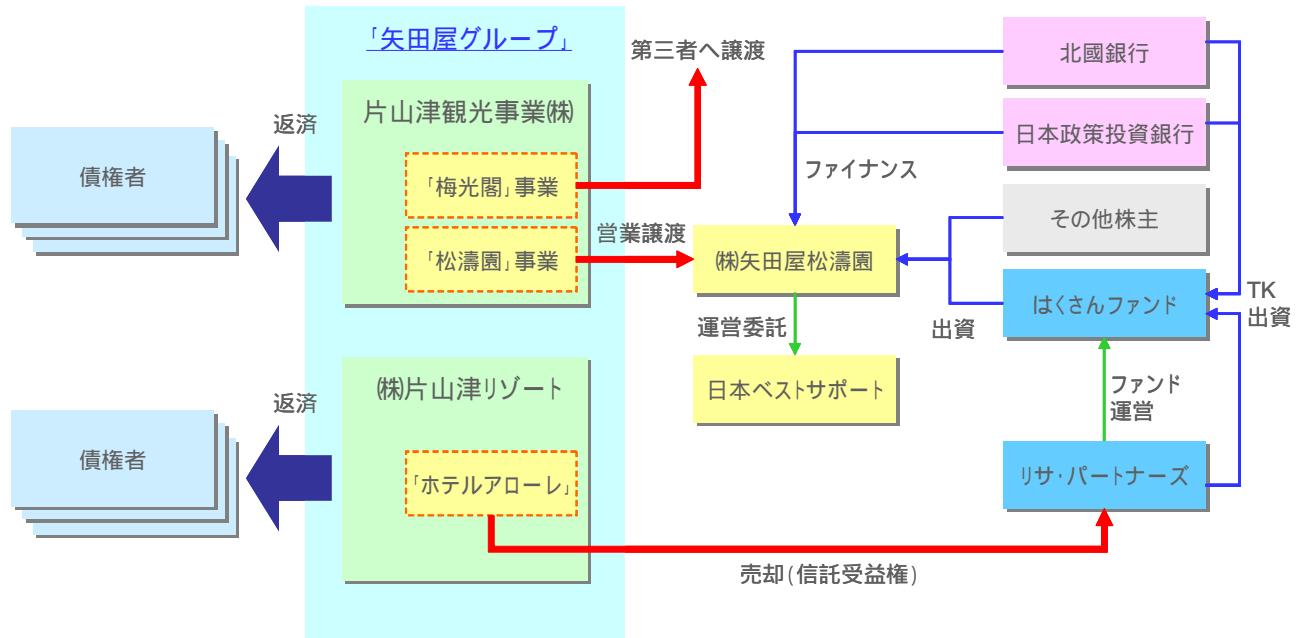
このような状況において、「矢田屋」の再生は単に一旅館の再生のみならず、「加賀温泉郷 片山津温泉」全体の再活性化にも繋がるとの認識に立ち、当社、北國銀行及び日本政策投資銀行は、共同で同社の再生に取り組むことと致しました。

2. 再生支援スキームの概要

「矢田屋」の再生にあたって、同社は「松濤園」事業の運営に経営資源を集中することとし、同旅館を所有・運営する新会社として株式会社矢田屋松濤園を設立致します。当社は、北國銀行及び日本政策投資銀行と共同で「はくさんファンド」を設立し、(株)矢田屋松濤園に対して出資するとともに、取締役を派遣し、その再生を全面的に支援致します。(株)矢田屋松濤園の代表取締役社長には、旅館運営コンサルティングに数多くの実績を有する三嶋忠夫氏を招聘するとともに、旅館運営は、全国の旅館運営・要員派遣等で実績のある日本ベストサポート株式会社（代表者 清水巖）に委託した上で、大規模改装を実施し、4 月中旬にリニューアルオープンすることを予定しております。

また、同社の関連会社である株式会社片山津リゾートが所有・運営している「ホテル・アローレ」については、当社が 1 月中旬に取得した上で、積極的な営業展開を図ることと致します。

<スキーム図>



3. 新会社の概要

- (1) 商号: 株式会社矢田屋松濤園
- (2) 所在地: 石川県加賀市片山津温泉
- (3) 代表者: 三嶋忠夫
- (4) 出資金: 60百万円
- (5) 株主: 有限会社はくさんファンド 他

4. 「矢田屋」の概要

- (1) 所在地: 石川県加賀市片山津温泉
- (2) 開業: 明治29年9月
- (3) 客室数: 80室 (松濤園45室、梅光閣35室)
- (4) アクセス: JR北陸本線加賀温泉駅から車約10分
小松空港から車約20分
北陸自動車道片山津ICから車約10分

5. 「ホテル・アローレ」の概要

- (1) 所在地： 石川県加賀市柴山町
- (2) 開業： 平成9年7月
- (3) 客室数： 130室
- (4) 収容人数： 300人
- (5) アクセス： JR 加賀温泉駅から車10分、小松空港から車15分、
北陸自動車道片山津ICから車5分

6. 当期業績への影響

今般の株式会社矢田屋松濤園への出資について、今後、「松濤園」の再生により企業価値向上が見込まれ、将来的には株式売却による配当収益が期待されます。また、ホテル・アローレについても、同ホテルの運営改善に伴い配当収益が見込まれます。

ただし、当期については事業期間が短いことから、当期業績予想への影響は軽微であると見込んでおります。

7. 地図（ご参考）



以上